

玉入れ(アジャタ)ルール

◆基本ルール

4名以上6名以内の選手が、99個のアジャタボールと1個のアンカーボール合計100個をバスケットに入れるまでの時間を競うタイムトライアルスポーツ（制限時間3分）

（本大会では、幼児の部のみアジャタボールを49個とする。）

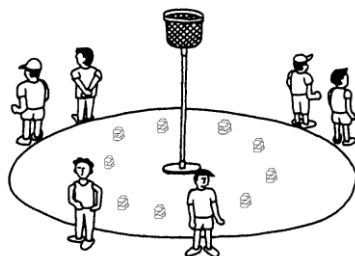
※制限時間内に全てのボールが入っていない場合は、入った個数を記録とする。

【コート設営等】

①アジャタコート 直径6メートルの円

②アジャタバスケット 一般4m12cm／女子3m50cm／小学生2m80cm／幼児1m95cm

1. スタート準備



1. アジャタボールをサークル内に配置し、選手は全員サークル外で後ろ向きでスタンバイする。
(アジャタボールは競技開始前に、自由な形に積むことができる。)

基本的に投げ方は自由。
右図の方法がおすすめ！
6個のボールを交互に積み、
一度に投球する。



(俵積み)



(おがみ投げ)

2. 競技開始



2. スターターの合図によりサークル内に入り、玉入れを開始する。

※重要※ アンカーボール（黒）は、一番最後に入れなければならない。（先に入れると失格）

【ボールがバスケットにかかった場合】

- ・アンカーボールでそのボールを落としてしまっても、アンカーボールが入ればセーフ。
- ・アンカーボールを投げる前にそのボールが落ちた場合は、そのボールを先に入れる。

3. フィニッシュ



3. アンカーボール（黒）がバスケット内に着底した時点を競技終了とする。（制限時間3分）

【失格事項】 次の場合は失格となる。

- ・アンカーボールを最後に入れなかったとき
- ・選手以外の方がアジャタボールにふれたとき
- ・棒などの道具や肩車等の不正な投球